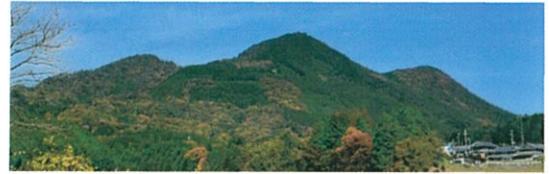


東榛原まち協だより



・発行：東榛原まちづくり協議会 総務・企画部：宇陀市榛原天満台西 4-19-10 ☎ 090-3825-1237

東榛原まちづくり協議会 会長 新 禎 夫



東榛原にお住まいの皆さま、長引くコロナ禍の中でいかがお過ごしでしょうか。当協議会も平成25年にスタートして早や9年目を迎えましたが、この間皆さまに数多のご理解とご協力を頂き心より御礼申し上げます。

お陰さまで、様々な活動を通じて地域内の親睦連帯・協力等一連の融和策は一定の成果を収めてきました。

しかしながら、他に誇れるこの良き環境を維持増進させ、更に安心・安全のまちづくりと、あらゆる災害をも乗り越える力強い体制を培っていかねばなりません。

そのためにも、今後とも一層のご支援下さいますようお願い申し上げます。

可搬式消防ポンプ貸与式挙行される!!

この程、宇陀市より当協議会に可搬式消防ポンプが貸与され、去る6月27日（日）、万全のコロナ対策のもとで、大和富士ホールにおいてその式典がとり行われました。

市からは金剛市長はじめ関係部局の幹部と宇陀市消防団榛原第二分団関係者 計11名、当まちづくり協議会からは、新 会長以下全役員、防災部会員、消火隊員と東榛原地区連合自治会長以下全自治会長 計51名が出席しました。式典後、同広場において貸与されたポンプを使用して、各地区から選出された消火隊員により放水実演が行われました。



(貸与目録を市長よりまち協会長へ)



(貸与されたポンプ3台)



(放水実演)

ここに至った経緯は、災害に備えた防災・消防体制を確立することを目的に、当協議会が令和元年度に策定した中期事業計画に基づくものであります。具体的には「災害に強いまちづくり」を合言葉にその取り組みとして、まず自主防災組織を立ち上げて組織の充実強化を図ることとしました。

しかし、大規模な災害が発生した場合これだけでは万全とは言い難く、宇陀市に対し相互に連携した防災体制の構築を求めました。

市は当協議会の本計画に呼応したかたちで東榛原地区を「市の防災モデル地区」に認定し、令和2年度の計画であった、下記の整備を完了しました。

【 可搬式ポンプ 3 台配備 】 ① 大和富士ホール広場 ② 天満台東ノ辺公園 ③ ひのき坂古墳公園

【 防 火 水 槽 2 ヶ所埋設 】 ① 天満台赤人公園 ② 天満台中ノ辺公園

この結果、ハード・ソフト両面の防災体制は第一段階として整ったこととなりますが、この活動を更に広げていかねばなりません。また、この体制をより効果的に運用するか否かは、東榛原に住む私達自身にかかっていると云えるでしょう。 ☆ 貸与式の模様は7月11日（日）からテレビ うだ ch で放映！

令和2年度 定期総会

コロナ対策の為、文書確認で成立 !!

令和2年度の定期総会は、コロナウイルス感染予防のため、昨年に引き続き変則的ながら全代議員の文書確認を行って、全議案が成立しました。

当協議会も成立して早や9年目となり、育成段階から成長過程に入ってきております。そこで、従来培ってきた皆さまの相互親睦を更に深めていくと共に、本来の目的である平和で安心・安全のまちづくりを目指し、災害に強く老いも若きも常に笑顔を保てる活力ある東榛原となるよう、精力的に活動していくとしています。

令和3年度 役員の紹介

役 職	氏 名	地 区
会 長	新 禎夫	山辺三
副 会 長	川本國昭	天満台東3丁目
副 会 長 (兼務) 受託事業部長	木原 弘	額井
副 会 長 (兼務) 会計 (兼務) 産業部会長	平山博志	山辺三
副 会 長 (兼務) 生活・環境部会長	増田嘉久	赤瀬
副 会 長 (連合自治会会長)	宮崎充弘	天満台西3丁目
総務・企画部長	岡本浩一	天満台西4丁目
文化・観光部会長	木原利男	天満台東2丁目
青少年支援部会長 (兼務) 総務・企画部事務	西村隆成	ひのき坂
福祉・健康部会長	小寺治子	天満台西2丁目
防災部会長	藤本昌弘	赤瀬
総務・企画部付 総務・企画部事務補助 (連合自治会理事)	松田光弘	山辺三
総務・企画部付 総務・企画部物品管理	中野 茂	天満台西4丁目
理 事 (連合自治会副会長)	中嶋菊伯	額井
理 事 (連合自治会理事)	家本晴夫	赤瀬
理 事 (連合自治会)	青山紘一	天満台西4丁目
理 事 (連合自治会理事)	岡村和彦	ひのき坂
監 査	日樫勝謙	戒場
監 査	堂下慎哉	天満台東3丁目

各種行事あいつぐ中止

— 納涼夏まつり —

東榛原地区最大のイベントとして親しまれている『納涼夏まつり』は、残念ですが今年も中止となりました。

来年はコロナ禍も収束し、老若男女すべてが楽しめる「夏まつり」になるようを祈っています。

— 濡れ地蔵・桜まつり —

桜並木に映える 癒しの桜ちょうちん

憎っくきコロナを蹴散らして「まち協ちょうちんで桜を彩ろう」と、3月29日(月)榛原ふれあい広場に250余個の提灯を取り付けました。同時に、山辺三地区有志(五月会)による恒例の鯉のぼりを数多く揚げていただきました。

例年開幕している「濡れ地蔵・桜まつり」は、今年も中止となったものの、地元の方はもとより、遠方からも見物客が大勢訪れました。提灯は、4月11日(日)、鯉のぼりは、5月10日(月)まで揚げました。



桜並木に彩りを添える提灯



大空を元気に泳ぐ鯉のぼり